

教育実習

5月21日(月)から教育実習が始まりました。今年は、保健体育2名、英語1名、養護1名の合計4名で、期間は、養護が2週間、それ以外の教科は3週間です。

その中で、養護教諭を目指しているU先生からその日に行った講義について報告がありました。

明南祭(6月14・15日)が近づいてきたことを受け、模擬店を行う2年次のため「調理に参加するにあたって」というテーマで講義を行い、内容は、手洗いの必要性や正しい手洗いの実践といった基本的なことから、食品・調理器具の取り扱いや食中毒まで多岐にわたりますが、プリントや映像を利用した講義でした。

英語や数学のように教科を教える先生とは異なり、担当の授業がないため、6限目終了後の放課後の時間を利用し、講義を行ったとのことでした。

2年次生にとっては、既に知っていることも多かったかもしれませんが、U先生によると、思いのほか映像をしっかり見て、熱心に取り組んでいたようでした。



[下の写真はホームルームの様子です]

また、U先生の高校時代の話も聞くことができました。「明南で学んだことで役に立ったことはどのようなことですか」という質問に、「課題研究」が役に立ったと即答されました。卒業論文等の論文を作成する際にも高校で習ったことを活かし、戸惑うことはなかったようです。



卒業後も明南での学びが役立っていることを聞いて、嬉しく思いました。現役の皆さんも勉学に励んでほしいと思います。